

各 位

令和 8 年 5 月 26 日
日本原子力研究開発機構
敦 賀 事 業 本 部

高速増殖原型炉もんじゅのしゃへい体等取出し作業の終了について

平素、当機構の業務運営に関しまして、御理解、御支援を賜り、誠にありがとうございます。

4月24日、しゃへい体等取出し作業を4月28日より再開することをお知らせさせていただきました件について、5月25日までに計画していた164体の原子炉容器から炉外燃料貯蔵槽への移送作業を終了しました。今後は、しゃへい体等取出し作業で使用した機器の点検等を実施していきます。

敦賀地区の廃止措置の実施にあたっては、安全確保を最優先に、立地地域並びに国民の皆様の御理解を得ながら、着実に進めてまいります。

以 上

問合せ先： 敦賀事業本部 地域共生・広報課 電話番号 0770-21-5026

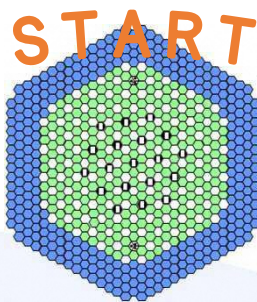
もんじゅ廃止措置の状況 (令和8年5月25日現在)

しゃへい体等取出し作業

「もんじゅ」の原子炉内にあった燃料は全て取り出されています。

今後は、原子炉などの中にある燃料以外のもの（「しゃへい体等」と呼びます）を取り出していきます。

そうすることで、この先の原子炉の解体がスムーズに進むように準備します。



GOAL

原子炉内を「空」に!

【令和5年4月時点の炉内の状況】

青：しゃへい体

緑：模擬燃料体

そのほか：制御棒など

「しゃへい体等」ってなに？

以下を総称したもので、廃止措置計画第1段階(令和4年度)終了時点で原子炉と炉外燃料貯蔵槽に合計599体がありました。

- ① 中性子しゃへい体： 燃料の外側に配置されていて、運転していた時には 燃料で発生する中性子を原子炉外に出にくくする役割がありました。ステンレス鋼でできています。
- ② 制御棒集合体： 主に中性子をよく吸収するホウ素でできていて、原子炉の制御(起動や停止など)に使われていました。
- ③ 中性子源集合体： 原子炉を起動させるときの中性子源(焚火で例えると最初の“火種”)として使われていたもので、ほとんどがステンレス鋼で、ごく微量のカリホルニウムという物質が使われています。
- ④ 模擬燃料体： 第1段階で取り出した燃料と入れ替わりで挿入した「形だけ燃料体に合わせた」ものです。これらもステンレス鋼でできています。

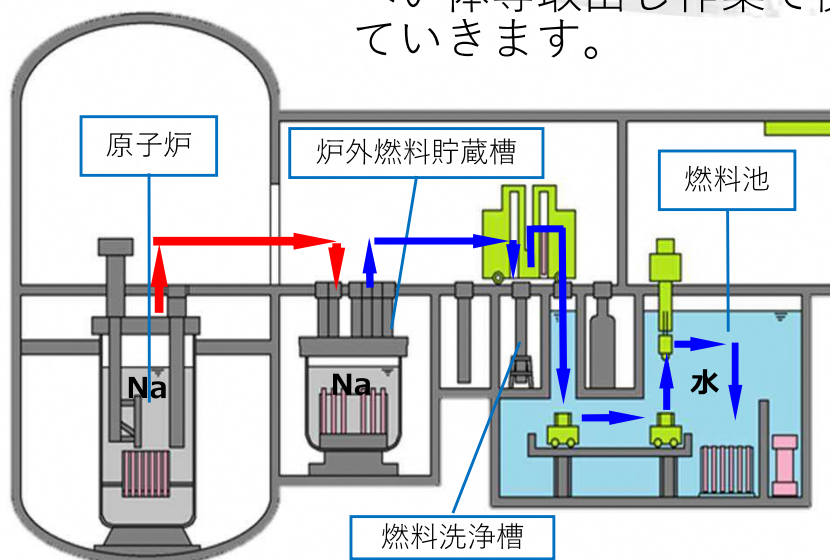
【作業の状況】

205体 / 599体

移送完了しました

(燃料池へ移送した数)

○4月28日よりしゃへい体等取出し作業を再開し、5月25日までに原子炉容器から炉外燃料貯蔵槽へ計画していた164体の移送作業を終了しました。今後は、しゃへい体等取出し作業で使用した機器の点検等を実施していきます。



	原子炉	炉外燃料貯蔵槽	燃料池
第1段階終了時	595体	4体	0体
令和8年5月25日	227体	167体	205体